

ポジティブ・スクラム

ポジティブ・スクラム ぽじていぶ・すくらむ

positive scram. 通常の制御棒の設計では、緊急炉停止（原子炉スクラム）などで制御棒が炉心に挿入される場合、制御棒（ボロンなど）が中性子を吸収することによって負の反応度（negative reactivity）が生じ、原子炉は停止する方向に向かう。RBMK炉（黒鉛減速軽水冷却チャンネル式沸騰水型）の場合、制御棒が全引抜き状態から炉心に全挿入されると、比較的中性子吸収の多い軽水が排除され、中性子吸収の少ない黒鉛ディスプレーサに置換わり、正の反応度（positive scram）が加わっていく。これをポジティブスクラムと云っている。RBMK炉であるチェルノブイル4号炉の事故はこれが引き金になったという説がある。なお、現在のRBMK炉では、改善された制御棒が使われている。

<登録年月>

1999年03月
